

未来を開く

長井市立長井北中学校

No76 令和4年 1月26日

授業研究で磨く、「道徳の授業」

特別の教科道徳として、年間35時間の実施が義務付けられている道徳の授業。豊かな心の醸成に向け、研修は欠かせない。

道徳が特別の教科となって3年。いじめなどの重大な問題が少なくない状況にあり、道徳教育の必要性が今まで以上に高まっています。

また、SNSなどの利用によるトラブルも発生しており、家庭と連携した「情報モラル」の指導も欠かせません。

これから、グローバル化社会の中で生活していく子供たち。自分の考えを級友などと意見交換しながら、特別の教科道徳を通して「社会や世界と関わり、よりよく生きていく」術(すべ)を身に付けることが求められています。そこで、本校では1月21日(金)に、全学級で道徳の授業研究会を行いました。



教科書を真剣に見入る姿



板書の随所に工夫が

1 ねらい

道徳の授業に関して、より生徒の考えを広げ、深められるような授業の方法を学び、よりよい道徳の授業ができるようにする。

2 講師 愛知教育大学教授 鈴木健二 先生

3 日程と題材(教科書の題名)

時間	対象	内容など
2校時	1年生全学級	「私に宇宙のプレゼント」
3校時	2年生全学級	「わたしのせいじゃない」
4校時	3年生全学級	「片足のアルペンスキーヤー」
放課後	先生方全員	授業づくり講話 「道徳授業をおもしろくする！！」



意見の交流で考えを深めます

とても聞きやすい朗読



【左】自分の思いを学習プリントに起こしていきます。考えをまとめるには欠かせない作業。



【右】考えや思いを発表し、意見の交流です。他者の意見を聞き、新たな価値観や考えに触れ、自分を高めていきます。



【上】講師の先生のご講話をお聞きし、先生方も授業づくりについて真剣に勉強しました。いろいろなことを知る、体験する、読む大切さを学びました。

■今までは命のことについてあまりちゃんと考えたことはありませんでした。今日の授業で、「いのち」そして「生きる」ということは、簡単にできることではないので、改めて毎日を大事に過ごそうと思いました。
(金 蓮斗さん)

■どんな辛い状況でも、希望を見失わずに努力し続けることは簡単ではないけれど、とても大切な事だと思いました。わたしも小学生の時に足を痛めて長い期間運動できない時期がありました。思うように体を動かさないことに悔しさを感じながらも、三澤さん(主人公)のようにはできませんでした。しかし今回の学習で、今までは「無理だ」とあきらめてしまうようなことも、頑張ってみようと思いました。辛くても、希望を忘れず自分を励ましながら常に挑戦を続けたいです。
(深澤柚香さん)

英語弁論大会リハーサル実施

3人の弁士、流暢(りゅうちょう)に英語を暗唱。堂々とした発表の姿に、健闘を祈る!!

1月27日(木)に、長井市民文化会館を会場に第47回長井ロータリークラブ杯英語弁論大会が開催されます。

昨年12月から、放課後遅くまで練習に取り組んできました。

本校からの参加者と暗唱タイトルは以下のとおりです。

- 1 Tsuchiya Kou (土屋心宇さん)
『Kiki's Delivery Service』
- 2 Kaneda Haruna (金田陽菜さん)
『Christmas Presents』
- 3 Yamaguchi Sayu (山口彩優さん)
『Limelight』

